

1 第2期実施計画（p23）における記載

開設準備委員会において、次のような「統合校が目指す姿」及び「統合校における教育活動の例」を踏まえ、統合校の名称のほか、具体的な取組等について協議します。

【統合校が目指す姿】

- 総合学科と工業科の併置校として、生徒の興味・関心等に応じた多様な学習により、幅広い知識や視野を身に付けさせ、生徒一人一人の進路志望を実現する高校
- 生徒のニーズや地域の特性を踏まえた系列を設置し、生徒の個性や能力を伸長させ、豊かな社会の実現に寄与する高校
- ものづくりに関する実践的な学習を通して専門的な知識・技術を身に付けさせ、地域産業の発展に貢献する高校

【統合校における教育活動の例】

- 学科や系列の枠を越えた探究活動や科目履修等、総合学科と工業科の連携による教育活動の推進
- 地域の社会人や有識者の積極的な活用や多様な選択科目の開設等、生徒の進路意識を高める教育活動の推進
- エネルギーや介護福祉等に関する科目の開設等、地域の特性や産業構造を考慮した教育活動の推進
- 熟練技能者による技術指導や大学・企業との連携による最先端技術の学習、高度な職業資格の取得等、高い専門性を身に付けさせる教育活動の推進

2 総合学科と工業科の連携

論 点

「下北地区統合校教育内容等情報交換会での意見」及び統合対象校からの提案を基に、総合学科と工業科の連携方策として、具体的にどのようなことが考えられるかという視点で協議する。

【下北地区統合校教育内容等情報交換会での意見】

- 総合学科と工業科の併置によるメリットを生かした学科・系列等の横断的な学びにより探究学習の充実と深化を図る。
- 学科・系列の専門性や系統的な教育活動を基本としつつ、以下のような教科・科目の履修選択の枠組みを検討することも考えられる。
 - 【自然科学系列と工業科の連携】
 - ・ 製品の共同開発、試作、データ分析のものづくりの一連形態を学習。
 - ・ 自然科学系列の生徒が、工業科の設備を活用することで、高いレベルの研究等による進路選択の幅の広がり。
 - 【健康福祉系列と工業科の連携】
 - ・ ユニバーサルデザインや地域の医療福祉分野に関する調査・研究から、ものづくりへつなげることによる教育活動の充実。
 - ・ 健康福祉系列の生徒が介護実習等において、介護備品の不便と思う点に対し、工業科の技術を取り入れ、その不便さの解消。
 - 【情報ビジネス系列と工業科の連携】
 - ・ 情報コースにおいて、資格指導や、情報技術分野の知識・技術の高度化によるビッグデータの解析・活用方法などの学習の充実。
 - ・ 多面的な地域課題の発見・解決に向けて、工業科がつくり上げた製品を活用して、地域ブランディング力やマーケティング力を育成する取組。
 - ・ 高性能な設備の使用や、専門性を有した教員の指導による、分野横断的な学びの受講。
- 生徒が興味・関心や進路志望に応じて、主体的に取り組めるよう、専門の教科・科目だけでなく、課題研究等での連携・実践を通して、思考力や探究力などの力を育むとともに、知識や技術を習得し、地域を支える人財育成にもつなげる。

【大湊高校からの提案】

- 総合学科生徒と工業科生徒との協働プロジェクト
例えば、健康福祉系列の生徒と工業科の生徒が共同で医療機器の設計や改良を行うプロジェクトなどが考えられる。
- 学科を越えた自由選択科目の設定
教科・学科横断的な学びにより、これまで各校で進めてきたS T E A M教育、アントレプレナーシップ教育がより充実したものになる。